

# 笑いあい、 気持ちが通じ合うとうれしい。



### 故郷・香美町の良さに気づいて

中学生の時、「福祉体験」という授業がありました。視覚障害者の体験や、近くのグループホームに行って体験をしながら学ぶというものです。この授業が楽しく、早く人のために働きたいと思い福祉の勉強を専門的にできる、日高高校・福祉科へ進学しました。

高校入学する時に、家族で引越しをしました。生まれ育った香美町奥佐津は、家族ぐるみで仲が良く、地域の親しみ、温かさがありました。香美町を離れた事で、故郷が温かく優しい町だったと改めて気づき、故郷に貢献したいと思い就職先は香美町と決めました。

### 実際に体を動かし、体験重ねる仕事がしたい

もともと私はコツコツ勉強するより、実際に体を動かし体験を重ねる仕事をしたいと思っていました。また、祖母と同居しやさしくしてもらっていたので、おじいちゃん、おばあちゃんが大好きです。高校では、苦手な実習レポートなどもあり大変なこともありましたが実習を通して、また今は仕事を通してますますおじいちゃん、おばあちゃんを好きになり、家族の大切さに改めて気づいています。やはり、この仕事いいな、と思っています。

### 尊敬できる先輩に恵まれて

最初は先輩に付いて、ひとつひとつの業務を教えてもらいながら覚えていきました。10年20年の経験ある尊敬できる先輩ばかりで恵まれています。先輩から多くを学び、早く追いつきたいです。

### 心身の変化に気づけるようになりたい

ここは入居者の人数が多いのですが、スタッフも多く今は覚えることがたくさん。また、難しいことですが一人一人のことをよく知って、その方の心身の状態の変化に気づけるようになりたい。「私にはなんでも言っていていいんですよ」という雰囲気でも話してもらえるようになりたいですね。

### 「笑い合える時間」が幸せ、やりがいを感じる

利用者の方と一緒に笑い合い、気持ちが通じ合えるととても幸せを感じます。その幸せが、私のこの仕事へのやりがいになっています。

### 就職活動する方へのメッセージ ～この業界で感じる幸せ、知ってほしい～

経験の浅い私ができることは少ないですが、介護、福祉に少しでも興味がある、おじいさん、おばあさんが好き、など少しのきっかけがあれば、のぞいてみてほしい。この業界で感じる事ができる幸せ、やりがいを知ってほしいです。



## 炭本 琴音さん × 特別養護老人ホーム「しいの木荘」

施設 date : のどかな田園が見渡せ、香住の便利な場所にある。長期入居 56 人、ショートステイ 19 人の比較的大規模な施設で、グループホームも別棟にある。施設のすぐ隣には、社会福祉協議会の本所がある。



### 炭本さんと入居者の優しい空気感

生活相談員 小林 昭則

好きな仕事、といっても中学3年位で具体的には考えられないのが普通だと思います。でも、中3で進路を決め毎年実習にくる日高高校の生徒さんは福祉に対して信念を持ち精力的に学ぼうと、強い気持ちがある人が多い。炭本さんもそんな日高高校の卒業生です。

炭本さんは元々人懐っこい面があり、自然にオープンな感じで利用者の心にとんと入っていきける。変に構えたり緊張感なくいい空気感を作れる。通常それは、訓練して技術を身につけ少しずつできるようになるものです。認知症の方は人の本質、中身を見ている。構えたり、オドオドした緊張感も肌で感じ、すぐ伝わります。認知機能が落ちて「察する」という感覚は落ちていないのです。炭本さんは、最初から利用者に対して優しい気持ちを持っているので、それが利用者にも伝わっているということがわかります。



同じ敷地内にあるグループホーム

### 炭本さんのある一週間

月曜：7:30～16:30  
火曜：15:00～22:00  
水曜：22:00～9:00  
木曜：OFF  
金曜：15:00～22:00  
土曜：OFF  
日曜：8:30～17:30

【完全週休二日】

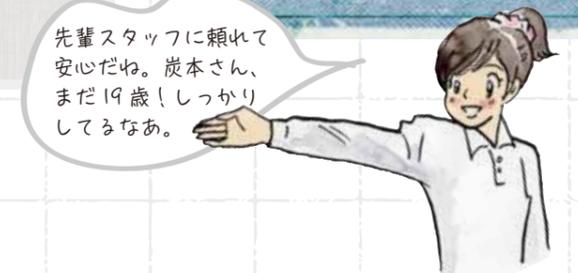
### 炭本さんのある日

7:30 出勤  
食事介助、排泄介助など  
9:30 体操  
10:30 お茶の時間  
コミュニケーション  
13:00 入浴介助  
レクリエーション  
15:00 お茶の時間  
16:30 帰宅

**炭本さんの my off time**

最初は運転免許がなかったですが、事業所近くには教習所があり、働きながら通って取得しました。休みの日は自分で運転して出かけられるようになり、うれしいです。

image



先輩スタッフに頼って安心だね。炭本さん、まだ19歳！しっかりしてるなあ。

# 役に立てた、 小さな積み重ねが、原動力



### 人の役に立てる、人と関わる仕事を

小代は過ごしやすく暮らしやすいところです。田舎で冬は豪雪ですが、雪かきは皆で助け合うなど、地域の人たちが本当に温かい。なので、高校卒業後も地元・小代で働きたいと思っていました。また、人の役に立てる、人と関わる仕事がしたかった。

きっかけは中学生の夏休みに、「\*サマーボランティア体験教室」に参加したことです。それまで障害のある人と接する機会はあまりなかったですが、この体験で選択肢になった感じです。\*社協と施設共催の取り組みで、小代の小中学生を対象にこぶし園内で障害のある方と触れ合う体験教室。(希望者)

### 想像力を忘れない。「作業」にしない

自分がされて嫌なことはしない、自分がしてほしいことをするように心がけていますが、良かれと思自分の思う精一杯をしても、気持ちに沿わなかったのか怒られた場合は悩めます。たとえば食事介助中、いつも自分で食べることのできるしっかりした方なのに、その日は進んでいなかったので体調が悪いのかと心配して声かけをしたら、怒ってこられた。その方にとって、何がよくなかったかはその時はわかりませんが、もっとよく状態をみておこうと思いました。ちょっとした気遣いで変わると思います。

朝、まず顔を見て声をかけてその人を見極める。今日はもっと話そう、今は控えておこうなど、様々な場合の対応を、自分の引き出しとして増やしていくことを心がけようと思います。

また、自尊心はもちろんあるので、トイレ介助でも少し一人になれるようにするとか、入浴介助ならタオルをかけたり。「恥ずかしいだろうな、嫌だろうな」という想像力を忘れない。「作業」にしないことを心がけています。そう思っていると指先も違ってくるし、心がこもってくると思います。

そうして「ありがとう」と返ってきた時、ああ、役に立てたのだなという小さな積み重ねが、続けていく原動力になります。自分も「ありがとう」と言える人になりたい。

### 資格、知識がなくても開かれる道

私は普通高校出身で資格や知識もなく入職しましたが、先輩から学びながら覚えていきました。痰の吸引などの医療行為以外はひと通りの業務はできます。3年の実務があれば実務者研修(50時間・約半年が必要)を受けて、介護福祉士受験の資格が与えられるので、私も現在研修を受けている最中です。

### 就職活動する方へのメッセージ ~自分の人生を見つめ直す体験~

きついこともあります、それだけではなく笑いもたくさんあります。なにより学びがすごくあります。たとえば、入居者の家族や地域の方が会いに来られるのを見てると、頼られている、慕われているなど感じる事が多くあります。認知症などがあっても人生の先輩の言葉は重みがあり、「私もこうありたい」と思う方々がおられます。しかし、そういう方の人生のゴールを見る辛い時、それまでのその方の人生に触れて自分の人生を見つめ直すことができました。なかなかできない体験だと思っています。



## 林本 康希さん × 特別養護老人ホーム「こぶし園」

施設 date: 小代区の高台にあり、最高の眺め。長期入居 86 人、ショートステイ 14 人の比較的大規模な施設。町内で最も早く開所した施設で、「社会福祉法人みかたこぶしの里」の本部拠点でもある。



食事前のおくちの体操



林本さんの上司から

### 「ありがとう」がモチベーション

施設長 橋本 佳久

彼は地元のマイナス面ではなく、ポジティブにいいところを見えています。素直でとてもピュアなのが持ち味です。年数が経てば誰でも「我」が出てくるものですが、ずっと謙虚で素直に学ぼう、としているので吸収力が落ちない。また、芯が強いから自分のマイナスの感情を外に出さないところもいいですね。私たちの仕事で基本にあるのは、**自分が人の役に立っているのだという実感**があることです。「ありがとう」がモチベーションになるんですね。

介護職は性別は関係ない、というのが原則。つまり男性スタッフが女性の利用者を介助しても性差を感じさせないように、が基本ですが最近は「同性介助」が必要になっています。時代に沿って変えていきたいと思っています。



### ここに決めた POINT

- きっかけ** 今の職場に「サマーボランティア体験教室」の参加をした。実際の体験が大きい。
- つながり** 風通し良く皆、仲がいい。オフの山登りも一緒に行くことも。
- 雰囲気** 疑問や悩みを言いやすい職場の雰囲気。



遠くに連なる山々も美しい施設外からの眺め

### 林本さんの my off time

体を動かすのが好きで、ランニングをふだんからしています。休みの日は登山が趣味。大山、富士山なども登りましたが、槍ヶ岳の印象が最も強いです。近くで雷が落ちたり、夕陽や星空がすごく近くてキレイでした。



image

人生観が変わるような経験があったのね。利用者さんは人生の大先輩ですものね。



# 一日一笑。 好きだから、大変だけど苦ではない。



**施設ではなく「住まい」**  
ここは従来型の複数人の相部屋とは違いユニット型（全室個室）なので、生活の時間は一応決まっていますが、個人の自由がきくのが特徴です。施設ではなく「住まい」に近いですね。その方の「これをしたい」という気持ちに応えるように手助けし、好きな時間に起きて食べる、という風に暮らしていただきたいです。

**楽しいという思いが、好きな仕事に**  
嫌なこと、苦手なことはないですね。それは好きな仕事だからで、大変だけど苦ではないから。急につねられたり、抵抗されたりすると「もぉ〜！」と思うこともありますが、それが嫌なことではないです。

以前の介護の職場は、最初デイサービス勤務でした。その後、特別養護老人ホームに移り、

「こっちの方が私に向いている」と感じました。というのは、デイサービスは毎日利用者が変わりますが、特別養護老人ホームは自分の受け持ちの方と毎日顔を合わせ、「楽しい」という思いが出てきたのです。それはやはり私をよく覚えてもらえ、互いに親密になり、何かを「一緒に取り組む」こともできるからだと思います。

### 「待ってたよ」に迎えられる喜び

ユニットには10人の入居者がおられます。自分のユニットの方はよく把握し何かあってもすぐ責任持って答えたい。表情、様子を見て変化の前触れに早く気づいていきたいです。また、入居者のご家族とのつながりも大切。特に今はコロナ禍であり訪問時間が取れないので、少しの時間でも「車いすですみませんでした」、「〇〇が食べられました」と、サッと良いことがあれば伝えていきたい。出来なくなっていくことも多いので。ご家族から、「ここにいて安心」などの声をかけていただくと、やりがいを感じてうれしい。

状態が思わしくない方がおられると、帰宅する前とても気になります。次に出勤した時、「あなたが来てくれて良かった。待ってたよ」と迎えられると、救われる思い。この仕事、好きだなあ、と思う瞬間です。情緒的になりすぎても良くないですが、悲しいお別れも経験するので、なおさらそう思うのでしょうね。

### 声を出して笑い、切り替えていく

毎日いろいろなことがあります。「一日一笑」が私の目標。家で嫌なことがあっても、いつもそう思って仕事に入ります。また仕事が終わったら、仕事のことは忘れ帰宅する。職場と家庭の場面が変わる時「一日一笑」と思って切り替えています。声を出して笑いたいですね。

### 就職活動する方へのメッセージ ～必要とされ、頼られる仕事～

きつい、しんどいと思われがちですが、これだけ必要とされ頼られる仕事という点に注目してほしい。働いてみないとわからない事も多いので、中学校の「トライやる・ウィーク」で体験してもらいたい。また、出前授業にも赴き私の体験談や施設の知られていない話などをします。それに都会と違いスタッフも入居者も田舎の人なので、全体にゆったりしているのもいいところですね。



## 井上 梓さん × 特別養護老人ホーム「むらおかこぼし園」

**施設 date**：村岡区の中心から少し山へ向かうが、国道に面しアクセスはいい。長期入居 50 名、ショートステイ 10 名の定員。居室は全室個室で『ユニット（生活単位）』ごとの生活支援が特徴。



広々とした明るいホール



井上さんの上司から

### スタッフの負担を減らす介護機器

施設長 山根 直美

井上さんは介護の経験も長く、明るく責任感が強いので他のスタッフからも頼られる存在。一緒に働きやすい職場づくりをしていきたいです。

介護はすべて人の力で行うのではなくでなく「**ノーリフティングケア**」を取り入れています。「移乗用リフト」は極力、利用者の身体を持ち上げないで、無理な力を使わないための介護機器で、スタッフ、利用者の双方に負担が少なくベッドから車いすへ安全に移動できます。以前は 2,3 人で行っていたので、なかなか思うタイミングに対応出来なかったですが、これがあると一人のスタッフでできます。

しかし介護機器に任せきりではなく、使い方を考え、人としての優しさ、温もりは大切にしつつ便利さを適切に取り入れる、ということが大切です。業務の効率化、人手不足解消にもなります。



**井上さんの my off time**

11歳と5歳と2人の子育て中なので、今は7:00~16:00と7:30~16:30のパート勤務。夫、母など家族が協力してくれるのもありがたいです。



image

### 働きやすさ取組みの POINT

スタッフへ無記名で筆跡のわからないデジタルアンケート  
(働き方をどうしたいか?考えるきっかけに)

スタッフ自身が職場を、自ら改善しようという気持ちに。

経営側も発想を変えて聞く姿勢に。

意見を交えともに考え、話し合いを重ねる。

介護の質を落とさず、省略と集中する点が浮き上がる。

スタッフ目線で考えてくれるし、スタッフ側からも言いやすい感じだね。



# 先を見据えて 将来は福祉のエキスパートに。



山根京子さん × 香美町社協 グループホーム「かがやき」

施設 date：香住区佐津ののどかな田園が広がる。木造の平家で入居者9人のアットホームな施設。となりにには同じ社協のデイサービス施設「ほほえみ」が併設。認知症対応型のデイサービス受け入れも（定員3名）



### 今後を考えたら30歳代の今、やろう

未経験でしたが、ずっと福祉には興味がありました。というのは、夫の祖父母の介護を手伝っていて、介護認定がされデイサービスに行く流れや、ケアマネジャー、保健師さんが進められる内容を間近で見ていて、資格を持って働くこの仕事、いいんじゃないかな？と思っていたのです。私自身はずっと事務職で働いてきたので、異業種は不安でしたが、今後自分の仕事のキャリアプランを考え、転職のことを視野に入れたら年齢的にも30代の今だな、これ以上遅くない方がいいと決心しました。

事務の仕事をしなが、休みの土曜日に初任者研修を受け半年かけて資格を取ってから、こちらに転職しました。



山根さんの上司から

グループホームは共同生活そのもの



目標に向かっていけるようサポートしたい。

管理者 松岡 聖史

全くの畑違いから来た山根さんですが、最初は友人を通し福祉・介護の仕事はどういうものか、と聞きにきました。そこで、資格の種類や内容、資格を取るための方法として大学、通信教育、実務経験を経ながらなど様々なルートがある事を教えました。山根さんはその後、初任者研修受け終えた後、もう一度うちへ来て働きたいとのことだったので、熱意を感じ明確な目標もっている勉強家だと感じました。

介護現場からの生え抜きの人は真の実力がつき良いソーシャルワーカーになれると思います。たとえば机上で高血圧とは140以上と学ぶだけでなく、実務と照らし合わせこのような状態が高血圧かと覚えると自分のものになりやすい。ぜひ山根さんの目標を後押ししてあげたい。彼女がきてから、施設の他のスタッフにも良い刺激になっていると思います。



### 希望の働き方を最初に話して

小学生の子どもがいるので、何かと勤務に穴をあけるのは悪いと思い、最初にその点を話したら「子どもを優先にしても大丈夫」と管理者の方に言ってもらい気持ちが楽に。子どもの急な病気や行事でも休みやすい、という働きやすい点もいいですね。

### 正解のない中、その方のペースに合わせて試行錯誤

日々の中では、たとえば便秘された方の清拭などをさせていただくと「すまない、すまない」と何度も謝られ「ありがとう」と言われると、大変さより嬉しくなります。また、午前中に入浴する時、ある方は毎回「朝から風呂に入るなんて贅沢だな」と言われる。「今までがんばってきたご褒美ですよ」など返して笑い合う。お風呂は1対1になるので会話はずみやすく、和みます。

反面、対応が難しい重度の方、軽度でも急変された時の対応は私にはまだ難しい。認知症は、それぞれの症状で日々変わるので大変という面はあります。先輩の、限られた時間内にする方法や様々なやり方を見て日々勉強します。これが正解というのではないので、その方のペースに合わせて試行錯誤しながら修正しています。でも疑問が湧くとそのままにはしません。対人なので間違いは許されないので、すぐ先輩や管理者に助けを求め、アドバイスもらうよう心がけています。

### 具体的なキャリアプラン

色々な経験知識をつけて、上を目指していきたい。具体的には、3年の実務を積んだら介護福祉士を、さらに実務を5年積んでケアマネジャーの資格を取りたいです。その後は国家資格のソーシャルワーカー（社会福祉士）になれたらと思っています。福祉相談にのり、福祉全体に携わり支援していきたいという目標があります。

### 就職活動する方へのメッセージ ～確実な仕事、必ず役立つ仕事～

きっかけや興味があれば、とりあえずチャレンジしてほしい。楽な仕事ではないので、合う合わないはあると思いますが、どこへ行っても必ずある仕事ということは確か。また、仕事を通して学んだ知識や技術は何年、何十年先に役立つ時がきます。

### 目指すステップアップのPOINT

介護職員 初任者研修・実務者研修

実務3年

介護福祉士

実務5年

ケアマネジャー（介護支援専門員）

ソーシャルワーカー（社会福祉士）

\*詳しくは資格の23pへ



小学生の男の子2人がいるので、休みの日はママ友たちと、太陽の下で子どもたちのサッカー観戦を楽しんでいます。

目先の働き方しか考えてなかったけど、結婚出産、その後のキャリアも考えないとね。



# 看護師のスキルを デイサービスの場でも生かす。

小松望美さん × 香美町社協 村岡通所介護事業所 (デイサービス)

施設 date : 村岡区村岡商店街の中にあり、住宅、店舗が集まる便利な立地。日中の決まった時間帯で定員 29 人の受け入れをしている。機能訓練・リハビリの器具、リクリエーション用具が色々用意されている。



### その方自身と関わっていく仕事

看護師だった母親を見て育ち、いつの間にか看護師の仕事に興味を抱いていました。普通高校から、資格を取るため専門学校へ。卒業後は 4 年間、病院に勤務し経験を積みました。その頃から高齢の方と話したり関わるのは好きな方でしたね。

デイサービスは、その方が住み慣れた自宅でその方らしく暮らしていけるよう、その方と関わり、支えていく仕事です。その方を理解するために寄り添い、時間を共にすることで信頼関係を築いています。この点が最も自分に合っていますね。

### 子育ての悩みも聞いてもらう

結婚して子どもができてからは仕事をしていませんでした。慣れない環境で友達もなく家にもって子育てしていましたが、ここで働きはじめ利用者の方に自分の子育ての悩みを話すことができました。笑って聞いてくれて、気持ちが晴れてきました。おおらかに笑ってくれるだけで元気になってきましたね。

また、1 日の終わりに「今日、こんなことが楽しかった」と改めて言うとうれしく感じています。

私の家族からもここで働くようになってから、明るくなったねと褒められました。

### ここで得たことを、発信し伝えていきたい

デイサービスでは、バイタルチェック（血圧、脈拍、体温など）やご利用者の状態観察、傷の処理など看護業務だけでなく、入浴時の更衣介助や食事介助、トイレ介助や送迎などの介護業務にも関わっています。また、機能訓練やレクリエーション活動場面にも関わりを持つことで、積極的に利用者把握に努めています。医療従事者であった経験を生かし、身体の悩みなど相談を受けることもある立場から、必要時は病院に連絡を取り、医療との連携に努めています。また、夫も理学療法士で病院勤務なので、互いに仕事の内容は理解し合っているのも働きやすさになっています。

今は、まだまだ覚えなければならない事がたくさんありますが、しっかり吸収し病院で学んだ知識や経験を生かしながら、ここで得たことを発信し伝えていきたいと思っています。そのためにはご利用者一人ひとりとしっかり向き合い、仕事内容をより深く理解することだと思います。

### 就職活動する方へのメッセージ ～「ありがとう」が持つ言葉以上～

介護、看護は汚いことが多い、という偏見があると思いますが、人が生活する上で仕方ない当たり前のこと。それ以上に、得られることが多い。「ありがとう」が持つ言葉以上の喜びがあります。親しくなったご利用者と様々な作品作りも楽しい。細かい作業が上手な方にやり方を学んだりする、ちょっとしたことも楽しいですね。



小松さんの上司から

ONE TEAM で生きがいにつながる支援を。

管理者 中村 昌夫

小松さんは病院での勤務経験をしっかり生かし、いろいろな視点をもって業務に取り組んでくれています。私自身、仕事を行う上で、多々刺激を受けているのは確かです。

「職員同士が何でも相談し合える環境づくり」それはわたしの役目

「利用者様と職員と一緒に笑える環境づくり」それは事業所の役目

事業所のスタッフには、ご利用者様の身の回りのお世話をさせていただくなどの業務にあたる介護職員、看護業務などを行う看護職員、生活上の相談業務にあたる相談員、栄養たっぷりの食事提供を行う調理員など、ONE TEAM (ワンチーム) でさまざまな視点からご利用者様一人ひとりの尊厳を大切に、生きがいにつながる支援に携わらせていただいています。



小松さんの my off time

クラシックピアノ演奏が趣味。自宅の近くには家がなく、音を気にせず思い切り弾いてリフレッシュしています。



image

### 小松さんのある一日(仕事)

- 7:45 出勤
- 8:30 業務開始 ご利用者さんお迎え
- 9:00 健康チェック(血圧・脈拍・体温など)  
\*入浴後の更衣介助、処置など
- 10:00 機能訓練
- 11:30 口腔体操→食事準備→食事(服薬介助、血糖測定など)→口腔ケア
- 12:15 休憩(シフトによる)
- 14:00 機能訓練、集団レク、連絡帳記載等
- 15:30 おやつ
- 16:00 ご利用者さんお送り
- 17:00 ミーティング
- 17:15 業務終了

### 小松さんのある一日(休日)

- 7:00 1歳の息子の「パーン！」の声で起床
- 7:15 朝食(もちろんパン)
- 8:00 掃除
- 10:00 ピアノを心置きなく弾く
- 10:30 散歩
- 12:00 昼食
- 13:00 息子お昼寝。その間、3歳娘と晩ご飯づくり
- 15:00 娘の熱い抱擁で息子がお昼寝から目覚める→おやつ
- 16:00 午後の散歩
- 18:00 晩ご飯
- 20:00 お風呂、洗濯
- 21:30 子どもたちを寝かしつけながら、私も就寝



# 介護に正解はない。 手探りの中におもしろさがある。



### ご近所の気安さで安心できる

こちらの管理者の方に声をかけてもらったのがきっかけで、未経験でしたが働き始めました。私はこの地区で生まれ育ち、住まいからも近く通いやすいのもいいですね。子どもが4歳、7歳、11歳とまだ小さいので、何かあっても希望を聞いてくれるのは助かります。今は、週に4日の勤務と、いろいろ都合を聞いてもらっています。また、こちらは以前保育園だったのですが私もこの卒園生。久しぶりに来てキレイに改装されていて、うれしくなりました。利用者も近所の顔見知りの方が多く、馴染みがあり安心してきて、ぜひ働いてみたいと思いました。

### 介護スタッフ、厨房スタッフ、生活相談員、看護師が連携

前職は事務職でしたのでなかなかイメージできなかったのですが、最初は話し相手から始めて、徐々に直接的な業務もできるようになってきました。朝は送迎から始まり、その日の担当で入浴介助、ホールでの運動の補助や作品づくりのお手伝いなど、利用者さんのお世話をさせていただいています。デイサービスどんぐりは、介護スタッフ、すべて手作りする厨房スタッフ、生活相談員、看護師など皆で連携して安心安全にご利用いただけるように心がけています。

### その方に合った最適な方法で接したい

こちらで勤務して3年になりますが、コミュニケーションが大切、と痛感しますね。たとえば声かけ。お風呂が苦手な方に対して、その方をよく見て声かけを考えます。同じ方でも日によって違う。車イスからベッドに移乗する方法も誰にでもあてはまる方法というのはないので、教えてもらいながら、最適な方法を模索します。レベルアップ、スキルアップしていかなければという気持ちになります。

苦手なのは、自分が担当のレクリエーションゲームを運営することです。皆をうまく盛り上げられるかな？楽しんでもらえるかな？と不安になることがあります。内容や進め方など先輩のやり方を参考にしながら、反省しながら考えています。

様々な施設形態の中でも、デイサービスは比較的状态の安定した方が多いですが、その日により一定ではないです。不安定な状態の方でも自信を持って接することができるよう、勉強しスキルアップしていきたい。初任者研修は終わっているので、実務者研修を受けたいと思っています。

### 就職活動する方へのメッセージ ～プラスもマイナスも、すぐ返ってくる～

自分の言動がすぐに返ってくるのがやりがいにつながります。マイナスのこともすぐに返ってくるので、それを受けてすぐに今度はこうしよう、ここに気をつけようと思えます。直接的な対人だからこそです。介護の方法もこれだ、という正解はない。手探りですが、そこにやりがいやおもしろさがあります。



下川 知代さん × デイサービス どんぐり

施設 date : 村岡区の旧保育園。建物は改装しているが、広い敷地に園庭はそのまま広がっている。スタッフ同士も利用者もご近所が多く、オープンで明るい雰囲気。



下川さんの上司から



自分が楽しくなければ、利用者さんも楽しくないはず

管理者 長瀬 勝利

下川さんは何事もきちんとしたい几帳面な性格。しっかりと芯があり吸収しようと熱心に疑問はすぐ聞いてくる、安心して任せられる人材です。でも利用者にはそういうぎっちりした面をみせず、明るく親しみやすいキャラクターですね。

当施設は開所から3年で、知り合いなどを通じて私が声をかけた地元のスタッフが多いですが、Uターンも歓迎です。町外へ出た方は故郷を見る目が違います。「介護の楽しさ」について、認知症の方は特に話していても1分前のことも忘れていたり、同じことを繰り返し言われたりします。しかしそれもその方の色なのです。1回1回がリセットされていて一瞬一瞬が大事だと感じます。その方がどうしたら笑ってくれるか考えるのが難しいですが、楽しい。

自分が楽しくなければ、利用者さんも楽しくないはず。見えないところでしっかりと考え、自分も楽しみながら接するようにしています。



### ここに決めた POINT

きっかけ 管理者から声をかけられ、事務職から転職(未経験)

働き方 週3回はフルタイム / 週1回は時短勤務

雰囲気 地元の顔見知りばかりの安心感



改装はしてるけど、保育園の感じが残るかわいい施設だよ。

